

## 最善の心臓血管リスク予測法は 24 時間血圧と夜間血圧の組み合わせ

高血圧が心臓血管病の重要なリスク因子であることが知られているが、血圧の測定法については、どの測定方法による血圧値が心臓血管病リスクの予測に最も有用であるのかは不明である。そこで本研究では、各種の方法により測定された血圧値と死亡および心臓血管イベントとの関連について検討した。

日本を含め、ヨーロッパ、アジア、南アメリカの地域住民 11,135 例(中央値 54.7 歳、女性 49.3%)が対象となった。中央値 13.8 年の追跡期間中に 2,836 例が死亡、2,049 例が心臓血管イベントを発症した。年齢や性別、BMI、喫煙などについて調整したところ、診察室血圧値、昼間自由行動下血圧値、夜間自由行動下血圧値、24 時間自由行動下血圧値のうち、24 時間自由行動下血圧値および夜間自由行動下血圧値が高いと心臓血管イベントのリスクが上昇することが分かった。

したがって、心臓血管イベントのリスクを予測する血圧指標のうち、24 時間血圧値と夜間血圧値の組み合わせが最も精度が高いことが明らかとなった。

出典: *Journal of American Medical Association*. 2019; 322(5): 409-420.